

1月 暮らしの暦

主な歳事・行事

<p>法定祝日。2017年は3連休になる。中国では新暦の新年よりも旧暦の新年(春節)にお祝いをする習慣があるため、新暦の新年はあまり重要視されておらず、普段通りに過ごす家庭も多い。最近では、外国文化が広がり、外資系の企業が多くなる中、新暦の元旦に新年を祝ったり、長期の休暇を取る企業が増えている。</p> <p>若い人を中心に会社の同僚や学校の友人同士でメールを送り合ったり、メッセージカードを贈り合って新年を祝う人も増えている。春節ほど盛大ではないが普段より豪華な食事をする家庭も多い。</p>	<p>香港では、2017年の1月1日は日曜日にあたるため、翌日の1月2日が法定祝日となり、3連休となる。香港は本土同様、新暦の新年よりも旧暦の新年(春節)にお祝いをする習慣があるため、普段通りに過ごす人が多い。ビクトリア湾の花火大会を見たり、カウントダウンをする。</p>
--	--

<p>春節期間は、腊八節(農曆腊月初八/1月5日)から元宵節(農曆正月十五/2月11日)。腊八節から春節準備が始まり、竈王節(農曆腊月廿三/1月20日)から除夕(農曆腊月末日/1月27日)の期間で大掃除をしたり、春節飾りや年夜饭、春節のごちそうの準備をする。春節飾りは祝福と清めを意味する紅(赤)色が多い。飾りは1年間貼り付けておき、年末に新しいものと替える。</p> <p>会社は1週間ほど、学校は1カ月ほどの長期休暇期間になる。春節は実家で過ごすために帰郷する人が多い。地元への帰省や旅行で交通機関が混雑する時期を「春運期間」と呼ぶ。春節の日から遡って15日目から起算し、春節後25日目を最終日とする40日間。</p>

<p>農曆の十二月を中国語では「腊月」と言い、日本の「節走」に相当する。腊月初八を「腊八節」と言い、この日から年越しの準備が始まる。腊八節から元宵節までが春節期間となる。古代中国では、豊作を神様に感謝し、疫病などをもたらす鬼を追いやる日だったのが、後代になり釈迦が悟りを開いた成道会の腊月初八と一緒になった。苦行に努めてやせ衰えた釈迦がお粥を食べて回復し、悟りを開いたことにちなみ、「腊八粥」という粥を食べる。具材は地域によって異なるが、キビ、米、もち米、ナツメ、粟、栗、落花生などを入れる。腊八粥セットなども売られている。</p>
--

<p>1学期と2学期の間の春節期間付近が冬休みになる。2017年は1月中旬頃から学生の冬休みが始まる。友人同士で旅行などレジャーに出かけたり、両親のもとへ帰省し、実家で春節を祝い、水入らずの時間を過ごす。家族とともに海外旅行または国内旅行に出かけるケースも多い。また、学校が休みの間でも、受験勉強や習い事に励む学生も多い。共働きの親が多いため、小学生など小さい子供は近くに祖父母が住んでいれば、昼間は祖父母の家で過ごすことも多い。</p>	<p>香港では、冬休みの制度がない。</p>
---	------------------------

<p>中国では年終獎金(ボーナス)は春節前に出ることが多い。ボーナスの使い方は、春節に向けての年貨(春節準備品)やごちそうを準備する。電化製品など買い替えの必要があるものはこのタイミングで買う人もいる。貯金や金融商品を購入する家庭もある。自分のボーナスを自分のために使いたい若者は自分の欲しいものを買ったり、自分の将来への投資に使ったりもする。企業によってはお金ではなく春節の年貨として社員へ食品やモノなどを渡すところもある。</p>

<p>中国では年会(忘年会)は、会社が主催する場合がほとんど。春節の前に開かれ、食事をしながら、一年間の社業の総括や優秀社員の表彰、歌やダンスの鑑賞、ゲーム、カラオケ、抽選会などが行われる。</p>

- 近場レジャーを楽しむ
 - 体育館でスポーツを楽しむ、体を鍛える
 - バドミントン 卓球 バスケットボール フットサル
 - 博物館、芸術館等へ出かけ、歴史文化に触れる

- 社会実践や学習などを通じて自分の能力を高める
 - 家庭教師についたり、塾に通って補習に励む
- 趣味や習い事の教室に通う
 - テコンドー 書道 ダンス ピアノ 英語などの外国語
- 大学生は社会実践に参加し、就職活動に備えたり、起業を試みる
 - アルバイト インターンシップ ネット通販起業
- ボランティア活動を通じて、社会貢献を行う
 - 老人ホーム 孤児院 病院
- 運転免許を取得するため、教室に通う

- 春節前に年終獎金(ボーナス)をもらう**
 - ボーナスをもらう
 - お魚、肉などの年貨(春節準備品)をボーナスとしてもらう
 - 現金とモノの両方をもらう
 - 豪華社員旅行 商品券 プリペイドカード 帰省用の切符 長期休暇 日用品 旬の野菜 車

- ボーナスを使う
 - 春節セールに行き年貨(春節準備品)を買う
 - 布団やカーテン 春節に着るための新しい服やアクセサリー 食材 お菓子
 - 春節の压岁钱(お年玉)の準備をする
 - 両親や義理の両親へ春節を過ごす費用として渡す
 - 貯金をする
 - 理財商品(定期預金より金利が高い金融商品)や保険商品を購入する
 - 電化製品やデジタルグッズを購入する
 - 若者は自分が好きなものや旅行費として使う
 - 親しい友人らとのパーティ費用に使う
 - 子供の教育費に使う
 - 親戚やお世話になった人への手土産に使う
 - 語学学習、仕事に有用なスキル習得、エクササイズなど自己投資に使う
 - 春節前にPM2.5対策用品を購入しておく

- 年会(忘年会)に参加する**
 - 春節連休の前に会社の年会に出席する
 - クルーズ年会 温泉年会 テーマパーク年会 ホテルの宴会場年会
 - 年会で抽選に参加し、豪華な景品をもらう
 - 家電 電子書籍リーダー デジタル機器 商品券 スポーツクラブ会員カード
 - ファミリー旅行 寝具 旅行用品 宝飾品 高級車 自社株 自社製品 骨董収集品
 - お酒を飲んだ後、温かいスープを飲むなどして二日酔いを防ぐ

- 竈王節を過ごす**
 - 春節に向けて準備をする
 - 家族で大掃除をする
 - 福字、春聯(対聯 横批)、門箋、門神などの春節の飾りつけを始める
 - 春節用の料理の食材や年貨(春節準備品)を買う
 - 餡 瓜子(ヒマワリの種) 落花生 新しい服 魚介類 牛肉の干物
 - 年夜饭の予約をする
 - レストランの予約 出前の予約 調理師派遣の予約

- 竈の神様に感謝をする**
 - 台所に貼ってある竈の神様の絵に向かって一年の報告をする
 - 古い竈の神様の絵を剥がして燃やし、新しいものにする
 - 新しい竈の神様の絵に糖瓜などの甘いお菓子や果物をお供えする

- 除夕を過ごす**
 - 春節の準備をする
 - 縁起の良い赤色や金色の福字、春聯(対聯、横批)、門箋、門神などの門飾りをする
 - 獅子舞の獅子頭や爆竹モチーフにした飾り物を買う
 - 福字はさかさまに飾り「倒福」とし、至福(福が来る)を願う
 - 干支(2017年は酉)にちなんだ飾りを買う
 - 新しい服を用意する
 - 年女、年男の人は縁起が良く邪気払いになる赤色の服や下着、アクセサリーを用意する
 - 春節に食べるごちそうの材料を買いに行く
 - 【北方】餃子を大量に用意する
 - 硬貨や落花生を隠し入れて縁起の良い餃子を作る
 - 肉やキノコ、野菜など具のバリエーションを数種類用意する
 - 白酒、老酒、紹興酒、赤ワイン、ビールなどお祝いの酒を用意する
 - 縁起の良いスイーツを買ったり手作りする
 - 八宝飯 年糕 寿桃 寿桃 瓜子(ヒマワリの種) 開心果(ピスタチオ) 洋菓子
 - 春節の帰省や親戚への拜年(新年の挨拶)のための手土産を用意する
 - 蟹 箱詰のジュースや牛乳 杏仁豆腐 牛肉の漬物 お酒 お菓子 果物 健康食品 茶葉
 - 春節に配る压岁钱(お年玉)を赤い袋の紅包に入れて用意する
 - 【香港】九龍の旺角や香港島のビクトリア公園の花市に出かけ、橘や桃、水仙などを購入する

年終獎金(ボーナス)シーズン

年会(忘年会)シーズン

腊八節(臘八節)

<p>農曆の十二月を中国語では「腊月」と言い、日本の「節走」に相当する。腊月初八を「腊八節」と言い、この日から年越しの準備が始まる。腊八節から元宵節までが春節期間となる。古代中国では、豊作を神様に感謝し、疫病などをもたらす鬼を追いやる日だったのが、後代になり釈迦が悟りを開いた成道会の腊月初八と一緒になった。苦行に努めてやせ衰えた釈迦がお粥を食べて回復し、悟りを開いたことにちなみ、「腊八粥」という粥を食べる。具材は地域によって異なるが、キビ、米、もち米、ナツメ、粟、栗、落花生などを入れる。腊八粥セットなども売られている。</p>
--

年終獎金(ボーナス)シーズン

<p>農曆の十二月を中国語では「腊月」と言い、日本の「節走」に相当する。腊月初八を「腊八節」と言い、この日から年越しの準備が始まる。腊八節から元宵節までが春節期間となる。古代中国では、豊作を神様に感謝し、疫病などをもたらす鬼を追いやる日だったのが、後代になり釈迦が悟りを開いた成道会の腊月初八と一緒になった。苦行に努めてやせ衰えた釈迦がお粥を食べて回復し、悟りを開いたことにちなみ、「腊八粥」という粥を食べる。具材は地域によって異なるが、キビ、米、もち米、ナツメ、粟、栗、落花生などを入れる。腊八粥セットなども売られている。</p>
--

- 年夜饭の予約**
 - 近年、共同購入サイトから外食店の年夜饭を割安で予約する人が増えている。外食店では除夕に、出前により客の家に届けることができる。インターネット経由で予約できる調理師サービスも注目されている。

<p>農曆の十二月を中国語では「腊月」と言い、日本の「節走」に相当する。腊月初八を「腊八節」と言い、この日から年越しの準備が始まる。腊八節から元宵節までが春節期間となる。古代中国では、豊作を神様に感謝し、疫病などをもたらす鬼を追いやる日だったのが、後代になり釈迦が悟りを開いた成道会の腊月初八と一緒になった。苦行に努めてやせ衰えた釈迦がお粥を食べて回復し、悟りを開いたことにちなみ、「腊八粥」という粥を食べる。具材は地域によって異なるが、キビ、米、もち米、ナツメ、粟、栗、落花生などを入れる。腊八粥セットなども売られている。</p>
--

- 紅色(赤色)**
 - 中国では、赤い色は縁起の良い色とされ、厄除けの効果があると考えられている。お祝いの際の飾りや身につけるものによく取り入れられる。特に年男や年女の人は一年間赤いものを身につけると厄払いになるという。

- 爆竹**
 - 爆竹は厄災を祓う意味がある。除夕から春節にかけて街中では爆竹が鳴り響く。近頃は都市では爆竹を鳴らせる場所や時間が指定されている。また、最近は環境のために電子爆竹を利用する人も増えている。